

◎ 科学技術における研究開発のための協力に関する日本国政府とオーストラ
リア政府との間の協定の有効期間の延長に関する交換公文

(略称) オーストラリアとの科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極
取極

昭和六十 年 十一月二十六日 キャンベラで
昭和六十 年 十一月二十六日 効力発生
昭和六十一年 一月三十日 告示

(外務省告示第二三三号)

目 次

ページ

オーストラリア側書簡..... 五七

日本側書簡..... 五九

(科学技術における研究開発のための協力に関する日本国政府とオーストラリア政府との間の協定の有効期間の延長に関する交換公文)

(オーストラリア側書簡)

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、千九百八十年十一月二十七日にキャンベラで署名された科学技術における研究開発のための協力に関するオーストラリア政府と日本国政府との間の協定の延長に関して、両政府の代表者の間で最近行われた討議に言及するとともに、前記の協定は、同協定第八条に基づき、千九百八十五年十一月二十七日より更に二年間延長されるとともに、その後は、最初の二年の期間の終りに又はその後いつでもいづれか一方の政府が他方の政府に対しこの協定の終了に関する通告を少なくとも六箇月の事前の予告をもつて書面により行うことによつて終了させない限り効力を存続するものとすることをオーストラリア政府に代わつて提案する光榮を有します。

本大臣は、更に、前記の提案が日本国政府にとつて受諾し得るものであるときは、この書簡及びその旨の閣下の返簡が、両政府間の合意を構成するものとすることを提案する光榮を有します。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向

オーストラリアとの科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極

(Australian Note)

Canberra, November 26, 1985

Excellency,

I have the honour to refer to the recent discussions held between the representatives of the Government of Australia and of the Government of Japan concerning the extension of the Agreement between the Government of Australia and the Government of Japan on Co-operation in Research and Development in Science and Technology, signed at Canberra on 27 November, 1980, and to propose on behalf of the Government of Australia that, pursuant to Article 8 thereof, the said Agreement be extended for a further period of two years, from 27 November, 1985, and that it remain in force thereafter, unless terminated by either Government at the end of the initial two-year period or at any time thereafter by giving to the other Government at least six months' written advance notice of termination.

If the above proposal is acceptable to the Government of Japan, I have further the honour to propose that this Note and Your Excellency's Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments.

I avail myself of this opportunity to renew

オーストラリアとの科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極

五八

かつて敬意を表します。

千九百八十五年十一月二十六日にキャンベラで

外務大臣 ビル・ヘイトン

日本国特命全権大使 中島敏次郎閣下

to Your Excellency the assurance of my highest
consideration.

(Signed) Bill Hayden MP
Minister for Foreign Affairs
His Excellency
Mr. Toshihiro Nakajima
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan

(日本国書簡)

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本使は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(オーストラリア側書簡)

本使は、更に、前記の提案が日本国政府にとって受諾し得るものであることを日本国政府に代わつて確認するとともに、閣下の書簡及びこの返簡が両政府間の合意を構成するものとすることに同意する光栄を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

千九百八十五年十一月二十六日にキャンベラで

日本国特命全権大使 中島敏次郎

外務大臣 ビル・ヘイドン閣下

(Japanese Note)

Canberra, November 26, 1985

Sir,

I have the honour to acknowledge the receipt of your Note of today's date, which reads as follows:

"(Australian Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of Japan that the above proposal is acceptable to the Government of Japan and to agree that your Note and this Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments.

I avail myself of this opportunity to renew to you the assurance of my highest consideration.

(Signed) Toshihiro Nakajima
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan

Mr. Bill Hayden MP
Minister for Foreign Affairs

（参考）

この取極は、昭和五十五年十一月二十七日に署名されたオーストラリアとの科学技術研究開発協力協定（昭和五十五年二国間条約集及び条約集第三三五二号参照）の有効期間を昭和六十年十一月二十七日より更に二年間延長することについての両政府間の了解を確認したものである。